慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	露国政党と過激派
Sub Title	
Author	板倉, 卓造
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1920
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.14, No.3 (1920. 3) ,p.417(115)- 424(122)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19200301-0115

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

雜　録

露國政黨と過激派

板倉卓造

過激派の露國政黨に於ける地位を理解せんが爲めには露國諸政黨の現狀に通ずるの要あること云ふを俟たず。茲に記するものは一九一七年三月の革命以後、現存する諸政黨なりとして Etienne Buisson の Les Bolchéviki (1917-1919) に錄する所に據り右黨より順次左黨の諸派を略說するものなり。而して原著者が其材料の大部分を Victorof の La Première année de la Révolution russe に假るものなること其特に斷る所なり。

1、十月黨 (Les Octobristes)

一九〇五年十月三十日(露曆十七日)を以て發せられたる舊露帝の憲法發布の宣言を此黨の主義と爲すに因り自ら十月黨と稱す。今、自由共和黨 (Parti libéral republicain) と呼び其本來の政綱を變更したり。革命後假政府の第一內閣に軍務卿たりし Goutchkof その首領たり。頭數多からずと雖も、上級有產階級を代表し、戰時中聯合國側に味方したり。

2、急進民主黨 (Parti radical démocrate)

舊國會に於ける進步派の領袖たりし Efremof 及び Bernatsky 之を率ゆ。日刊 Otetchestvo (國) その機關新聞なり。勢力振はず。

3、立憲民主黨 (Parti constitutionnel démocrate)

略稱して K.-D. 又は Cadet と呼ばるゝもの是れなり。又人民自由黨 (Parti de la Liberté du Peuple) の名あり。一九〇五年十月二十一日

を以て創立せられ「露國は議會的及び民主的共和國たる可く立法權は人民の代表者の手中に歸す可し」との主義を奉じ共和國の大統領は議會に對し責任を負ふことなるも內閣これを負ひ兩者を以て行政權を構成す可きことを主張するも土地問題に關する主義は不明なり。非社會黨中、最も有力なる政派にして Roditchef, Milioukof, Vinaver, Maklakof 等その領袖たり。一九一八年一月六日、憲法議會開會の當日暗殺せられたる Chingaref 及び Kokochkine の兩人も此の黨の有力者なりき。日刊 Rietch（言論）をペトログラードより Rousskiia Viedomosti を莫斯科より發行す。

4、民衆社會黨（Le parti populaire socialiste 又は socialiste populiste）

一九〇六年第一議會の解散當時革命社會黨（Parti socialiste revolutionnaire）より分離したるものにしてテロリズムを排する點に於て舊黨と相反するも大體に於て其政綱は革命社會黨の主張を緩和したるものなり。此黨派はアンテルナショナールとは無關係にして階級間の協和を唱へ特に人の箇性を尊重す。曰く「我黨の最高目的は各人に完全且つ自由なる生活の可能を保障し又各人に協調的發達の可能を確保するに在り」と。或階級の專橫に反對し社會の幸福を實現する爲めには「全人民の力と意思」に待つ可きを信ぜり。黨員多からず。主として智識階級の人より成るも其勢力は民衆間に薄弱なり。Péchékhonof 及び Miakotine の兩人これを率ゐ有名なる著述家にして雜誌 Rousskiia Zapiski（露文）の記者たる Korolenko は其有力なる黨員なり。日刊 Narodnoé Slovo（民の聲）をペトログラードより Narodny Socialist（民衆社會黨）を莫斯科より發行す。

5、革命社會黨（Parti socialiste-revolutionnaire）

一八九九年の創立にして舊 Zemlia i volia 黨（土地と自由）と Narodnaia Volia 派（民意）の大部分を糾合せり。一九一四年までは Bureau socialiste international に代表者を派遣したり。「資本家の財產を沒收し社會主義の基礎に基づき生產と全社會秩序の改造」を期し又民主的共和政治の下に「各郡縣町村に最大の自治を與へ露國內の各民族に全然自決權を承認し其の民族間に最廣義の聯邦主義を實行す可きこと」を望めり。革命社會黨は本來露國特性の政黨にして或種の問題に就ては國際社會主義の政綱を採用すと雖も自ら全然獨特の主張を有す。曰く「人間の社會的進步は社會的協調建設の爭鬪及び人の箇性の一般的並に調和的發達の爭鬪に於て之を認む可し。本黨は單に階級間の非箇人的の反抗のみならず更に眞理と正義の自覺的戰士の參加を期す。凡て社會的進步に缺ぐ可からざる要件は人口の增加と人民の欲望の增進に應じて自然力に對する人間の支配力の增大に外ならず」と。舊帝政時代の顯要なる人物（例へば歷山二世、Plehve, Stolypine 等の如き）を暗殺したるテーロリズムは實に此の黨派の特殊なる大信念なるが革命を企圖する社會民主黨（Parti social-démocrate）とは常に激烈に抗爭せり。此革命社會黨に三派あり。

a、右派革命社會黨（Les socialistes-revolutionnaires de droite）

其首領として Argounof, Savinkof 等を戴き主たる機關として Volia naroda（民意）を有す。有名なる「革命婆さん」Mme. Brechko-Brechkovskaia は實に此派に屬す。Kerensky 臭味の勞働黨（Troudoviki）も亦此派に結ぐり。戰時中

この派の唱へたる主要綱領は對外政策としては聯合側の戰勝を告ぐるまで露國參戰の繼續、普魯西軍國主義の破壞、永久の民主的平和を主張し對內政策としては左派有產階級諸黨と協同行動を期し憲法議會は此派の主要なる目的とする所なり。

b、中央革命社會黨（Les socialistes revolutionnaires du centre）

Tchernof, Gotz, Sensinof, Soukhomline 等この派の主要なる人物にして日刊 Diélo naroda（民の主張）は其機關なり。其頭數に於て最も有力なるも對外問題に就て內部分裂せり。其中にて Tchernof を首領とする多數派は戰時中その政綱として一般講和の即時實行を主張したるも前記「露國革命第一年」の著者 Victorof の評する如く「此目的を達する爲めに用ゆ可き手段に就ては何等云ふ所なかりき」。之に對し Gotz と Sensinof を領袖とする少數派は明白に護國論を唱へたり。然るに對內政策に關しては中央革命社會黨は能く一致團結し憲法議會を即時召集すること及び同議會にて政府を選任することを主張したり。一九一七年末の選擧に於て此派は絕對多數を制し有產階級派及び過激派との提携を拒絕したりき。

c、左派革命社會黨（Les socialistes-revolutionnaires de gauche）

此派の重なる黨員に Kamkof, Mstislavski, Natanson, Marie Spiridonova, Steinberg 等あり。其主たる機關紙を Znamia trouda（勞働旗）と云ふ。過激派に最も近く現に一九一七年十一月の騷動には同派と提携し其後數箇月間これを繼續したりしにブレスト、リトウスク條約及び獨逸に對するソヴヰエット政府の態度に關し不和を生じ提携を絕ちたり。土地問題に就ても此派は過激派よりも右派革命社會黨と其主張を同ふせり。其過激派との提携に依り此派は最初 Lénine 政府に於て農務卿その他總て閣員の七席を獲たりしも約六箇月にして分離したり。其間に實行せられたる重なる政策は秘密條約の公表、國債の破棄、土地國有令の發布、銀行の國有、政敎の分離、勞働者の生產管理、及び侵略戰爭參加の拒絕等にして其遂に過激派と絕つに至りしはブレスト、リトウスク對獨講和條約の問題に因るものなり。

6、社會民主黨（Parti social démocrate）

一八九八年の創立に係り一九〇五年第二回黨會に於て其政綱を決したり。其最も古顏の黨員に Plékhanof, Deutsch, Véra Sassoulitch, Axelrod 等あり。是れ露國のマークス黨にして Bureau socialiste international に代表者を差遣せり。此黨にも亦現に三派あり。

a、Edinstvo（統一派）

一九一八年芬蘭にて死したる Plekhanof これを率ゐたりき。黨名と同名の日刊新聞を發行す此派の對外政策は國防の必要、聯合國側と協同して獨逸軍國主義を擊滅するまで戰爭の繼續、民主的平和等を唱へ對內政策としては有產階級諸黨との協調、憲法議會の召集、有力なる政府の樹立等を企圖したり。明に過激派に反對するを以て同派の爲めに激烈に攻擊せらる。黨員必ずしも多からず。現に一九一七年末の憲法議會には一人の代表者をも有せざりき。

b、Les Menchéviki（少數派）

此派又三團體に小分せらる。

一、前記 Edinstvo 派に近く Potressof の率ゆる所にして機關 Den(日)を有す、戰勝的平和に就て Plekhanof ほど强硬ならず。

二、Tchkeidzé 及び Tserételi の派にして革命

の當初には寧ろ Internationaliste なりしも後に至り前派に接近するに至りたり。

三、Mencheviki Internationalistes として Martof, Axelrod, Martinof 等これに屬し日刊新聞 Rabotchaia Gazeta（勞働新聞）を有す。久しく過激派に反對しつゝありしが其偶、Lénine と接近することあるは反動派に抗する爲めに外ならず。此故に彼等は一方に有產階級派に反抗すると同時に權力のソヴヰエットに移るにも反對しつゝあり。斯くして此派は憲法議會の召集を主張するものなり。

c、Les Bolchéviki（多數派）

日本にて過激派と稱せらるゝもの即ち是れなり。Lénine, Trotzki, Zinoviev, Lounatcharsky, Kamenef, Radek を其領袖とし機關新聞 Pravda（眞理）Izviestia（新聞）を有す。前者は稍〻國內到る所に發行せられ後者は實にソヴヰエット政府の機關にして宣傳報道の記事と共に政府の法令布告を載す。即時講和と世界的革命の二事は此派の對外政綱の二大要目にして內に對しては無產階級の獨裁、憲法議會の解散、ソヴヰエットの專斷を主張す。此派の中にも亦分派なきに非ず。即ち常に人民委員會の行動を極端なる峻嚴を以て彈劾する左派過激派是れなり。Bou-Kharine, Radek, Mme Kollontai の如き特に有名にして其特有の機關として發行する Communiste 紙上には苟もオツポルチユニズムの疑ある當局者の言動に對しては假借なく之を論難する記事を以て滿載せり。

斯の如く今日の露國を支配する所謂過激派（Bolchéviki）は社會民主黨中の一派にして其の Bolchéviki は Menchéviki に對立する名稱なり。然らば其名稱の由來は如何と云ふに一九一九年一月五日、l'OEuvre 紙の記者に向ひ Lvof 公の語りたる所に據れば「Bolchévik は多數（Pluralité）を意味す。優越（prééminance）を意味するに非ざるなり。此語は萬國社會黨の Kienthal 又は Zimmervald 會議に起りたるものにして會議に於て Lénine の思想は二票の多數を占めたり。此多數を Bolchéviki と呼びたるより即ち此名稱一般に行はるゝに至りたるものなりと」。蓋し此語の語原は bolch にして形容詞にて bolchoi 即ち「大」（grand）を意味し副詞にて bolché 即ち「より大」（plus grand）又は「より多く」（davantage）を意味し名詞にて bolchinstvo 即ち「優越」（Prééminence）又は「多數」（majorité）を意味す。然るに Lénine の說く所に據れば Bolchévisme 及び Menchévisme の語は一九〇五年の革命に溯るものなりと云へり。即ち彼は其論文集 Krieg und Revolution 中に左の如く記したり。

「一九〇五年の有產民主革命のとき從來社會民主々義の內に存せし二傾向の間に新爭鬪を生じたり。是れ其內部の軋轢の直接に延長せられたるものに外ならず。即ち在來の Economisme は menchévisme に變し舊 Iskra 紙（火花）の革命戰略に對する隱忍は bolchévisme を生じたり。一九〇五年より七年に至る不安なる期間に Menchévisme は臨機應變主義を事とし自由主義の有產階級に依て支持せられ勞働運動に對して自由主義的且つ有產階級的進路を與へたり。即ち Menchévisme の要義は勞働運動と自由主義とを調和せんとするに在りしが之に對し Bolchévisme は社會民主々義的勞働階級の任務を以て自由主義の因循と不信に反抗して革命戰に於て農民階級の民主的分子を誘導するに在りと爲したり。而して一九〇五年の革命中、勞働の衆團は Menchéviki

自身の每度承認する如く總ての大運動に於て Bolchéviki と其行動を同ふしたりき。一九〇五年の革命は露國に於て社會民主々義の執拗なる革命戰略を實驗し之を鞏固にし之を完成し且つ之を最も强力なる武器と爲したるものなり」

Bolchévisme なる語が majorité の意を表示するものなりとせば又同時に其の主義に於て maximum の意を意味するものなり。Bolchévikiは極端過激の主義を唱ふるに反し Menchéviki は比較的温和の主張を懷抱せり。之を以て世間往々 Bolchévisme と同意味に Maximalisme なる語を用ゆるものありと雖も此混用は偶〻革命社會黨 (Socialistes Revolutionnaires) を怒らしむるの恐れあり。如何となれば Maximalisme は露國革命社會主義中の過激派に外ならばればなり。（革命社會黨中の此一派は一九〇六年本黨と分離したり）。或點に於て此一派は Bolchévisme に類する所なきに非ずと雖も他に全く反するものあり。現に今日尙ほ Maximalistes と呼ばるゝもの革命社會黨の黨員中に少なからずと雖も彼等は Bolchévisme に對して全然反抗するものなり。

ク、無政府黨 (Les Anarchistes)

此黨派は過激派共和政府の起るや頗る活躍したり。彼等はソヴヰエットの權力を以て半有產階級性と爲し資本家と妥協したるものとの疑ひを懷けり。本來一切の國家を否認するものなるが故に過激派社會主義の國家の滅亡を期すること有產階級的國家に對すると又同じ

英國石炭業委員會報告の概要（下）

堀江歸一

（二）スマイリー氏等の報告（續）

勞働時間短縮に關する坑夫の要求は一日六時間勞働と云ふが如き標語の爲めに、或る誤解を招きたるが如しと雖も、尙ほ一般の同情を博しつゝあることを疑はず。今日英國の坑夫は必ずしも法律に依て八時間勞働の保障を得たるものとす可からず。蓋し千九百八年の法律は會期終了の間際に臨んで、上院に於て修正せられ、同院は八時間を以て、各班の坑夫中、最後の一人が地層に降る爲めに昇降機臺に入れる時より、地層に居る坑夫の第一人が地表上に達したる時までとしたるが故に、坑夫が坑內に居り、種々の危險に遭ひつゝ勞働せる時間は八時間に非ずして、却つて八時間半乃至十時間半の長きに居るものとす可し。今坑夫は法律に八時間とあるを修正して六時間とし、二割五分の短縮を實現すると共に所得の低落を防ぐに足るの程度に於て、賃銀率の上進を期圖せんとす。斯の如くすれば、坑夫の坑內に居る時間が八時間以上に上るが如き、絕無と爲り、平均七時間內外と爲り、地表上に於ける勞働者の勞働時間亦之れに伴つて、減縮せらるゝに至る可し。

今や吾人は各種の產業を通じて、勞働時間の減少する事實に接しつゝあり。機械工業幷に造船事業に於て、一週四十七時間制度の實行せられたるが如き、又他の產業に於て、一週四十時間制度の誘導せられたるが如き、何れも此適例とす可く、一方に炭坑業と密接の關係あり、又時に同一企業の下に於て經營せらるゝ製鐵製鋼業者も勞働者の希望を容れて、勞働時間に三割三